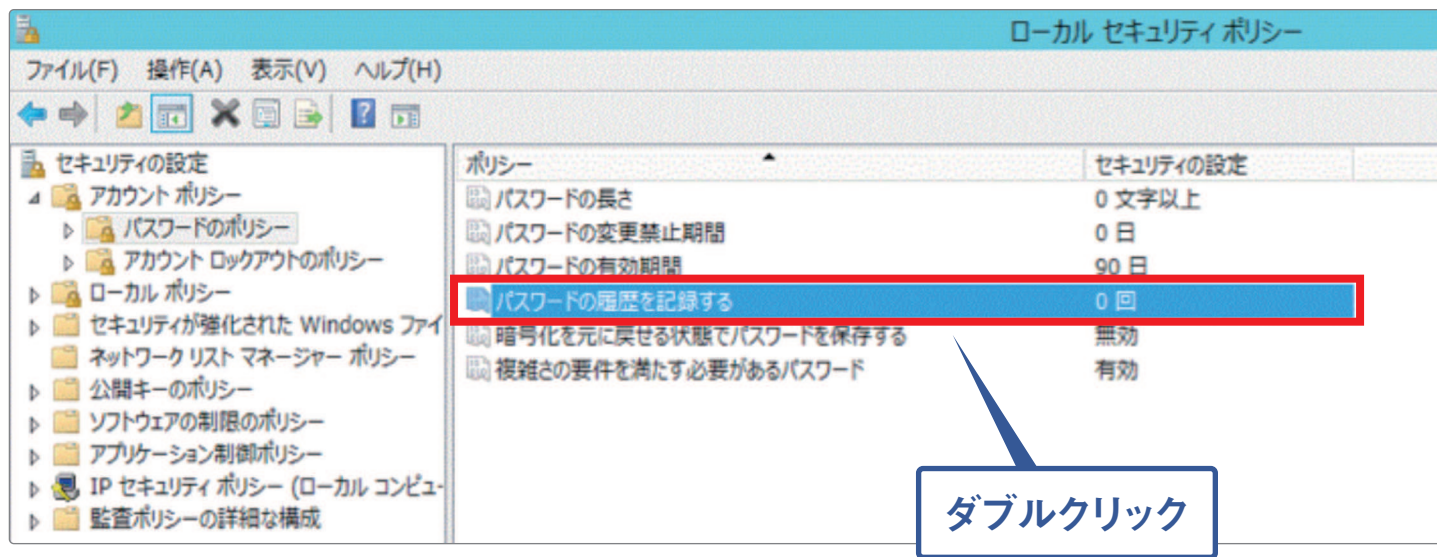


4 パスワードの履歴を記録

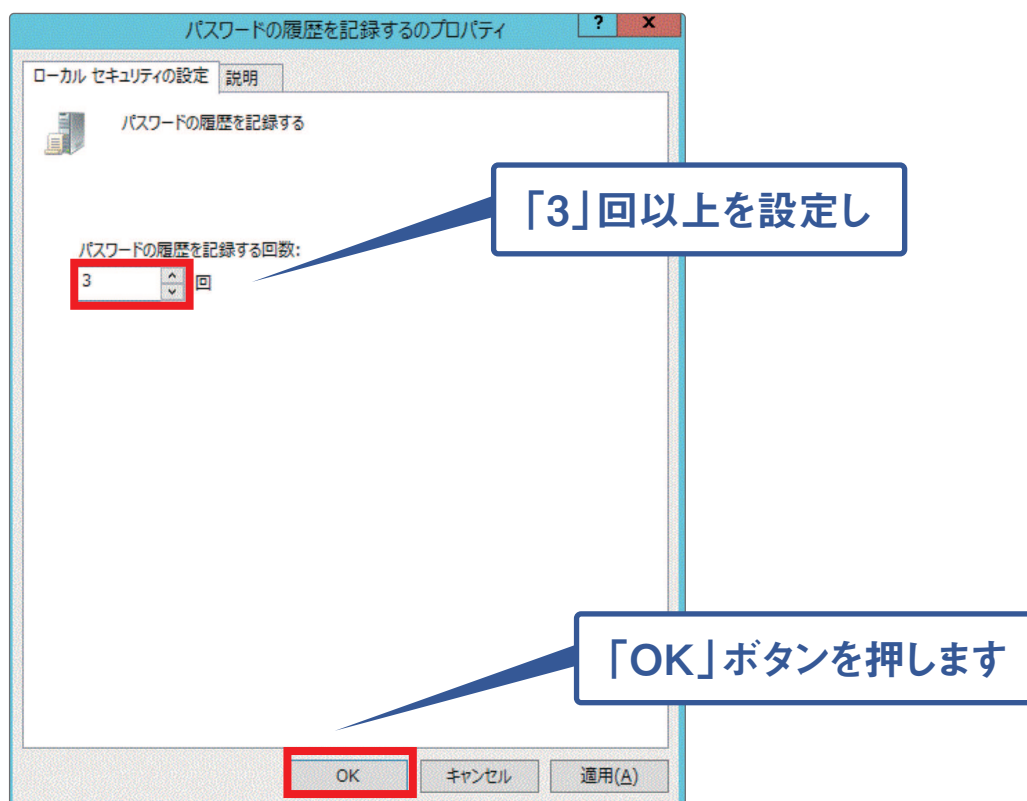
このセキュリティ設定は、以前使ったことがあるパスワードをもう一度使用できるようになるまでの回数を指定します。設定できる範囲は0から24までとなります。このポリシーを使用すると、古いパスワードの継続使用を防ぐことができ、セキュリティを強化できます。(3回以上に設定する事をおすすめします。)

〈設定手順〉

下記、「ローカルセキュリティポリシー」の設定画面の右側の「ポリシー」項目にて、「パスワードの履歴を記録する」をダブルクリックします。



「パスワードの履歴を記録するのプロパティ」が表示されますので、「3」回以上を設定し、「OK」ボタンを押します。

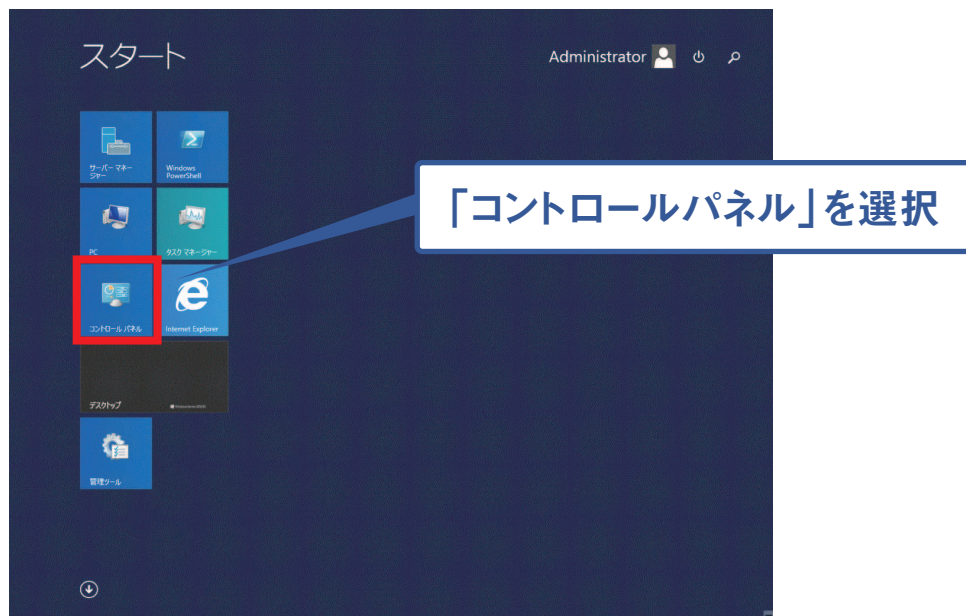


5 Windowsを常に最新の状態にしておく

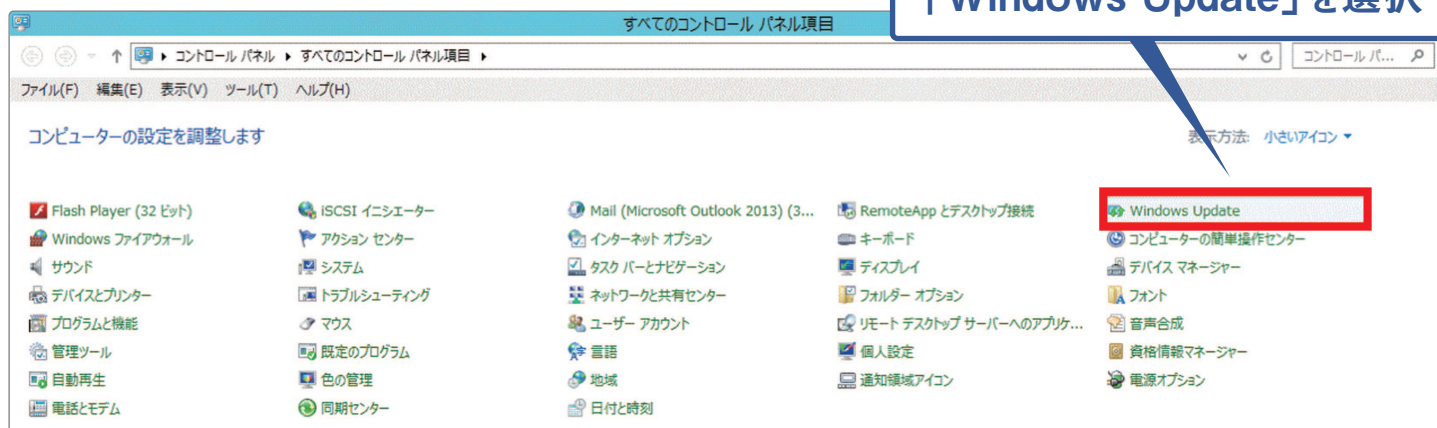
Windowsの更新が通知されたら、確実にアップデートし、常に最新の状態に保つことでセキュリティを強化できます。

〈設定手順〉

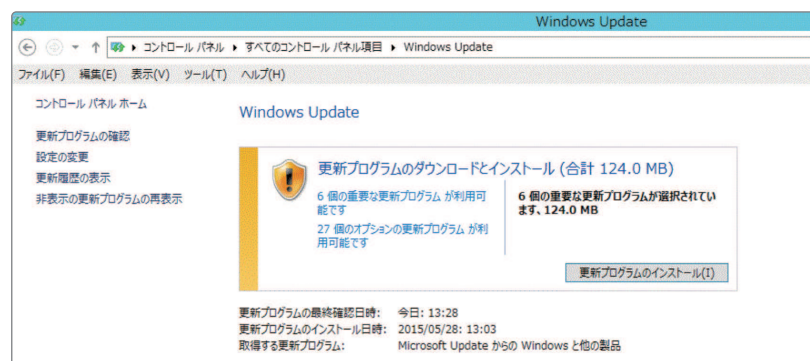
スタートメニューから「コントロールパネル」を選択します。



コントロールパネルから「Windows Update」を選択します。



「Windows Update」が表示されます。下記画面のように、更新プログラムが表示されている場合、アップデートを実施してください。



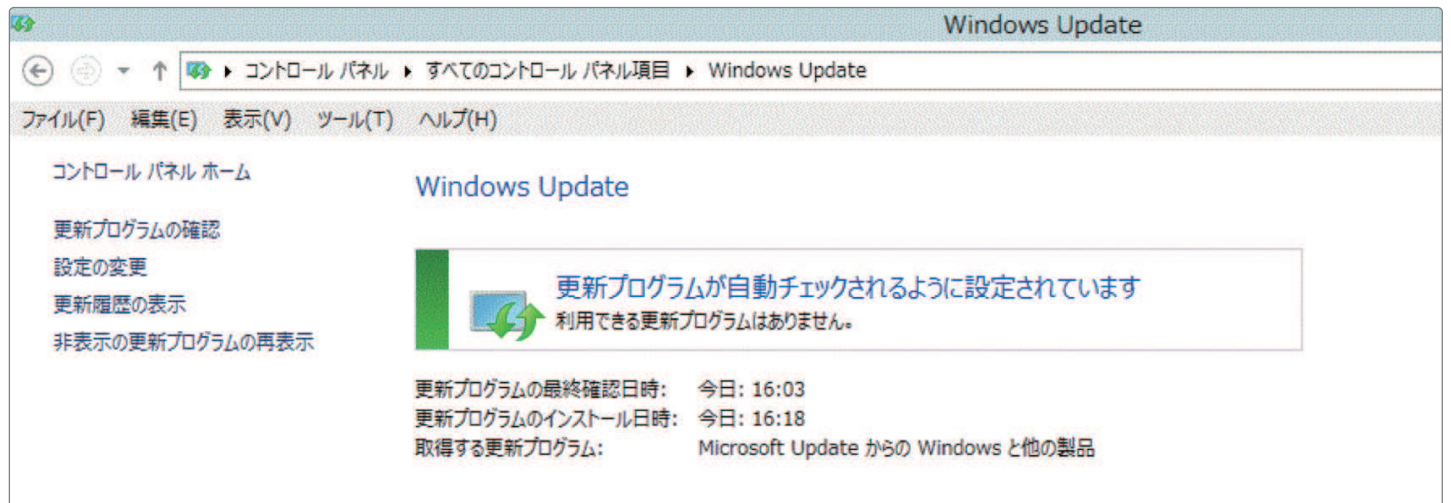
〈設定手順〉

- ① 「更新プログラムの確認」を選択します。更新プログラムがあるか検索が始まります。
- ② 更新プログラムがある場合、「更新プログラムのインストール」ボタンが表示されますので、「更新プログラムのインストール」ボタンをクリックします。



更新プログラムがインストールされると必要に応じてサーバーの再起動を求められます。その場合はメッセージの指示に従い再起動してください。

再起動後、上記①を実施し、下記の画面(更新プログラムがなくなるまで)が表示されるまで繰り返し「更新プログラムのインストール」を実施してください。



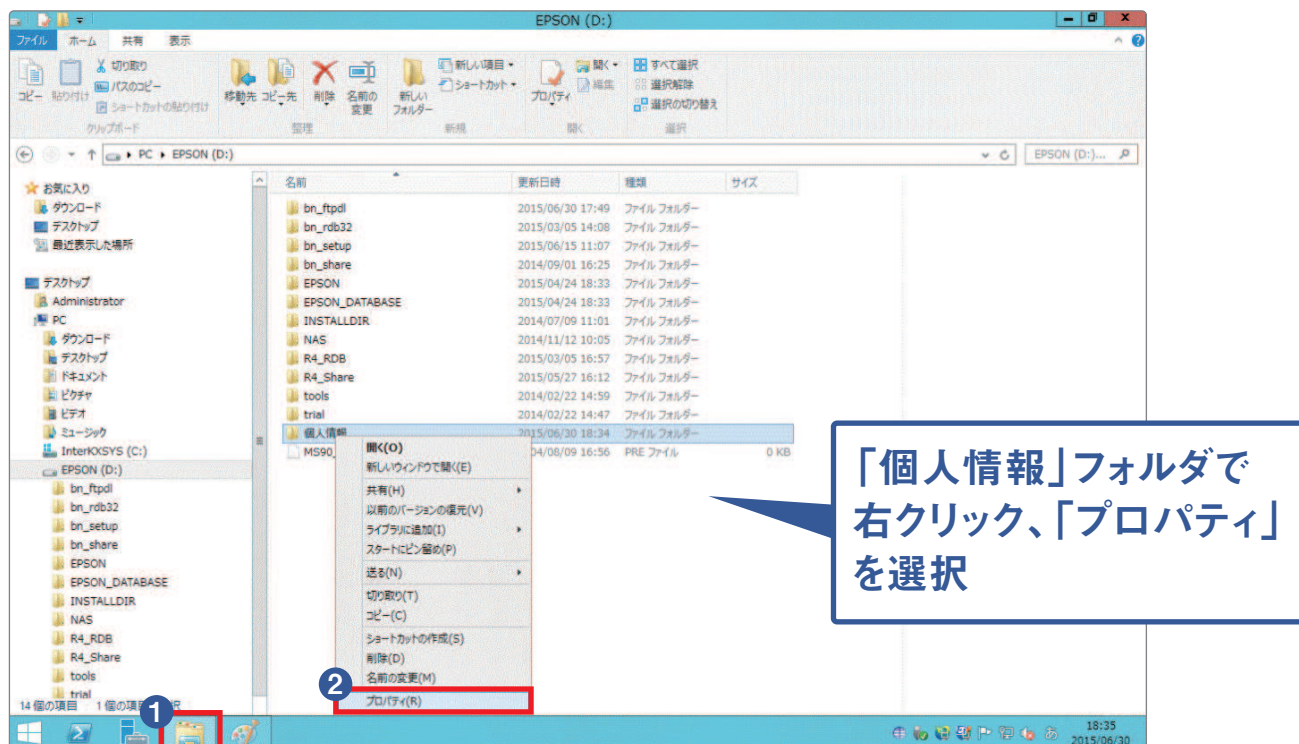
⑥ フォルダのアクセス権を設定する

個人情報を管理するフォルダなどは特定の限られたメンバーのみにアクセスできるように管理する事で、情報漏洩等のリスクを減らすことができます。

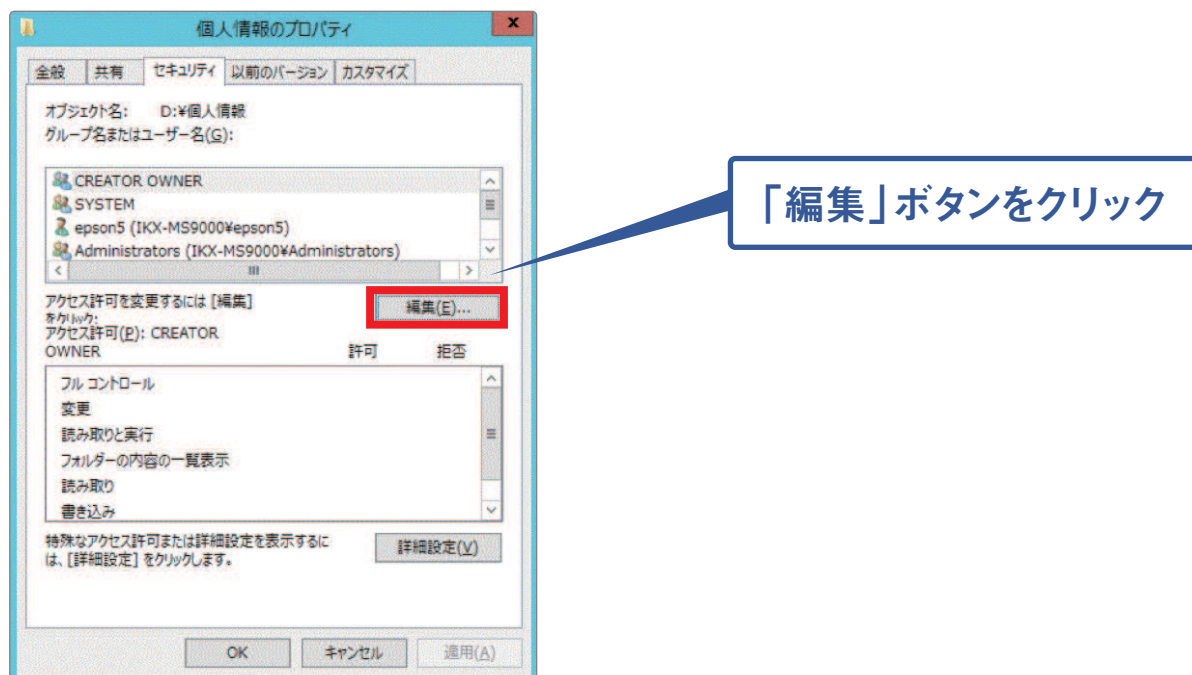
今回は「個人情報」というフォルダに対し、「epson5」というユーザーがアクセスできなくする設定を説明します。(アクセス権の設定は必ず、Administrator権限で実施してください。)

〈設定手順〉

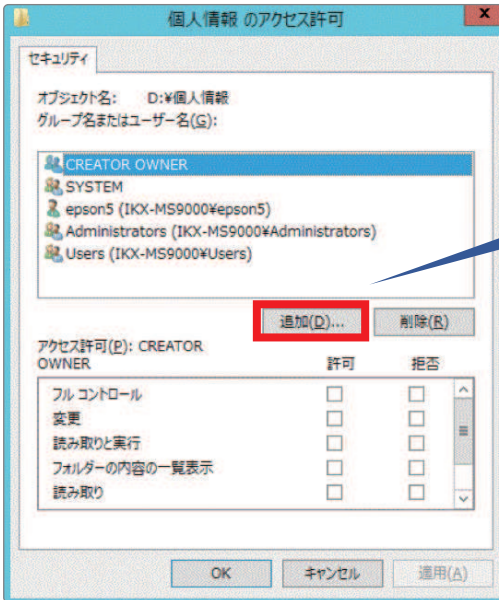
- 1 タスクバーのフォルダアイコンをクリックします。
- 2 右側の「個人情報」フォルダで右クリックを押し、メニューから「プロパティ」を選択します。



「個人情報のプロパティ」が表示されますので「編集」ボタンを押します。

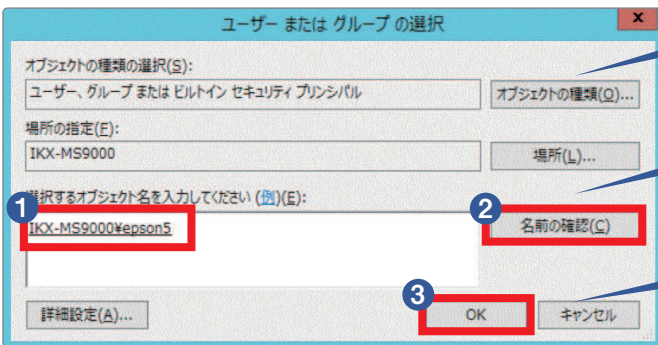


「個人情報のアクセス許可」が表示されますので「追加」ボタンを押します。



「追加」ボタンをクリック

- 1 「選択するオブジェクト名を入力してください」の枠内で「epon5」と入力します。
- 2 「名前の確認」ボタンを押します。
- 3 「OK」ボタンを押します。



「epon5」と入力

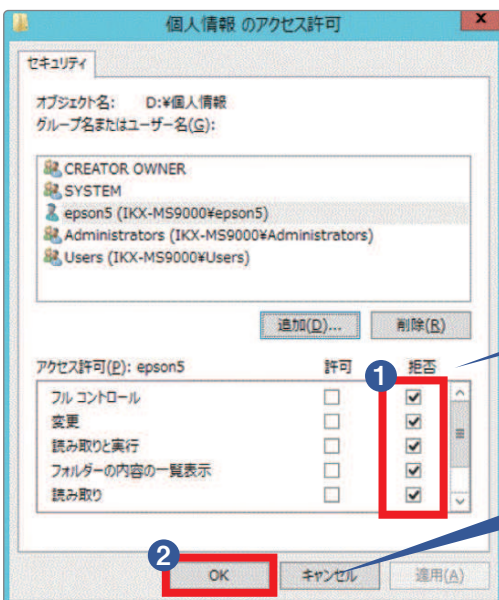
「名前の確認」ボタンをクリック

「OK」ボタンをクリック

「個人情報のアクセス許可」が表示されます。

- 1 「許可」のチェックを全て外し、「拒否」のチェックを入れます。
- 2 「OK」ボタンを押します。

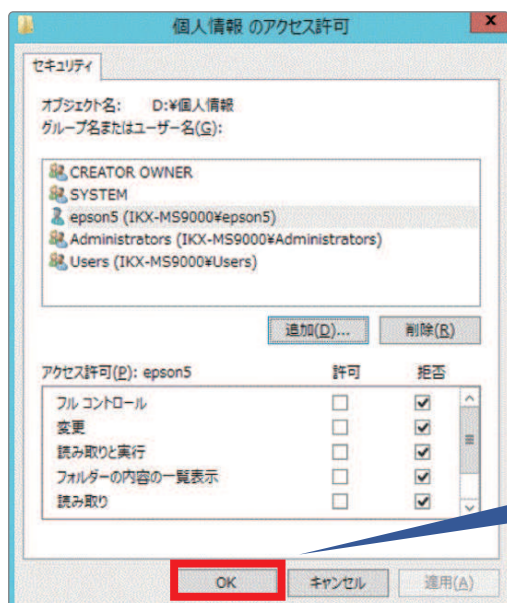
*今回は、ユーザー「epon5」が「個人情報」フォルダにアクセスできないように設定します。必要に応じてチェックを設定してください。



「拒否」のチェックを入れる

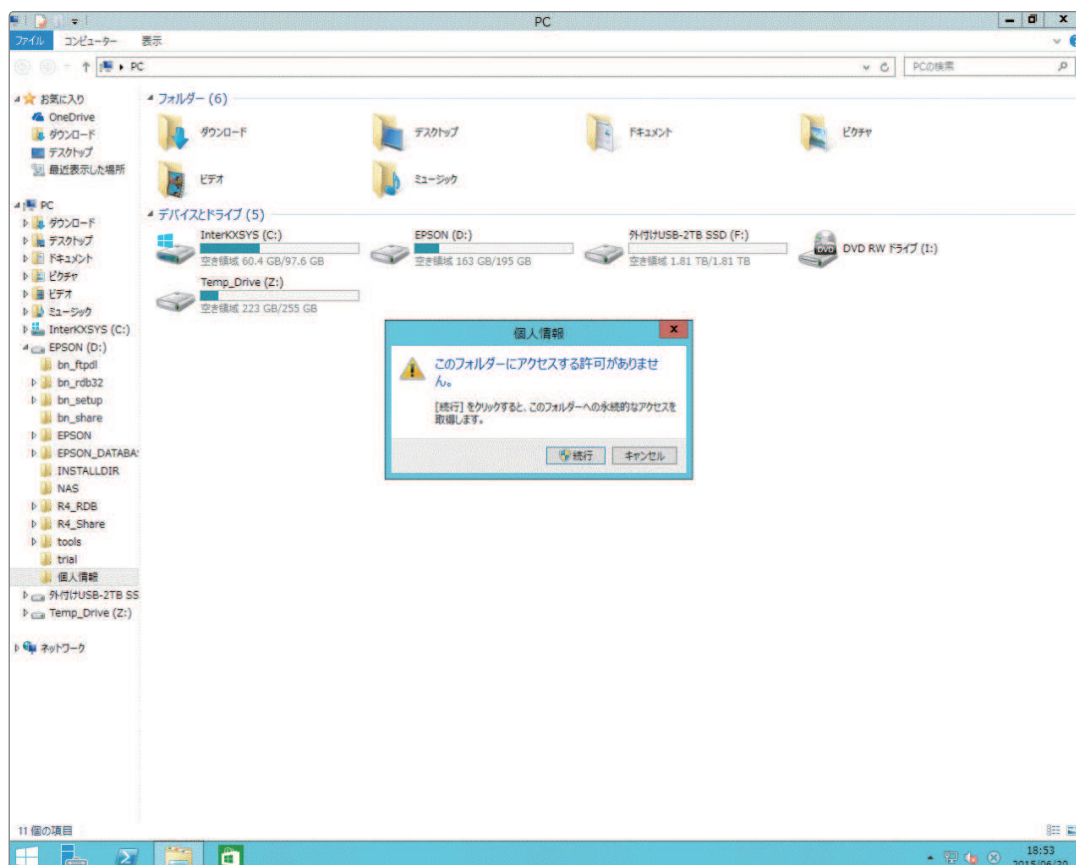
「OK」ボタンをクリック

「個人情報のプロパティ」に戻ります。「epson5」をクリックし、設定内容が反映されているか確認し、「OK」ボタンを押します。



「OK」ボタンをクリック

Windowsにユーザー「epson5」でログインし、「個人情報」フォルダにアクセスしてみます。「個人情報」のポップアップウィンドウが表示され、「このフォルダーにアクセスする許可がありません。」と表示され、アクセスが拒否されます。



「今できる! 6つのマイナンバー対策」としては以上となります。
マイナンバー対策の一環としてご活用いただきたくお願い申し上げます。

*R4、従来の(IKX/応援)シリーズのセキュリティ設定手順書は9月に公開予定です。